

弾道ミサイルを想定した訓練の実施について

1 訓練の目的

国から弾道ミサイルに係る情報が伝達された場合における、道や各市町村への情報伝達のほか、関係機関の初動対応や、住民がとるべき行動について訓練し道民の理解を深めるとともに、関係機関の情報共有・連携強化を図る。

2 主 催

国（内閣官房、消防庁）、北海道、岩見沢市、滝川市

3 訓練想定

X国から弾道ミサイルが発射され、我が国に飛来する可能性があると判明

4 主要訓練項目

(1) 初動対応訓練

ア 実施日時・場所

平成29年8月29日（火） 16：00～
北海道庁地下1階 危機管理センター

イ 内容

- ・ 国からのエムネットによる情報を受け、道（振興局）と各市町村との情報伝達を実施
- ・ 訓練想定に基づき、関係機関*が危機管理センターに参集し、各機関が実施する初動対応等について確認

※ 北海道総合通信局、北海道開発局、第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面総監部、北海道警察 など

(2) 住民避難訓練

ア 実施日時・場所

① 滝川市

- ・ 日時 平成29年9月1日（金） 9：00～
- ・ 場所 滝川市東滝川地区
- ・ 参加者 約150人

② 岩見沢市

- ・ 日時 平成29年9月1日（金） 13：00～
- ・ 場所 岩見沢市上志文地区
- ・ 参加者 約80人

イ 内容

携帯電話のメール等による住民への情報伝達及び屋内退避等の実施